電波新聞

2025年(令和7年)3月19日(水曜日)

アマダスクール

「優秀板金製品技能フェア」表彰式

国内外の263点から優秀作品69点選出

職業訓練法人のアマダスクール（福井幸弘理事長）は、「第37回優秀板金製品技能フェア」の受賞作品を選出した。国内外から263点の応募があり、技能賞以上の優秀作品69点が選ばれた。8日にアマダ本社（神奈川県伊勢原市）で表彰式が開かれ、受賞者に賞状とトロフィーが手渡された。

アマダ本社で行われた表彰式の様子

アマダスクールは、NC制御マシンの操作教育を目的に、アマダの教育機関として1974年に発足。同フェアは、国内外の製造業において板金加工技術・技能の向上と交流を図り、業界全体の発展につながることを目的に89年から毎年開催している。

厚生労働大臣賞にMMR技研

品質・精度の高さを評価

選考は、日本塑性加工学会会員、シートメタル工業会役員、フェア会場見学者とオンラインによる投票の後、学識経験者で構成される審査委員によって審査される。

「単体品の部」「組立品の部」「溶接品の部」「造形品の部」「学生作品の部」の5部門が設けられ、毎年5月から国内外の板金加工作品を募っている。

今年は263点（国内155点、海外108点）の応募があった。海外応募作品の国別内訳では、中国とアメリカがそれぞれ16点で最多。次いでフランス（13点）、スペイン（10点）、インド（9点）、イタリア（7点）などと続き、19の国と地域からの応募があった。

特に優れた作品には分野を越えた「厚生労働大臣賞」や「経済産業大臣賞」など、各部門の優秀作品には「グランプリ」、学生作品の部には「金賞」「銀賞」「銅賞」が贈られる。今回は技能賞以上の優秀作品69点が選ばれた。

厚生労働大臣賞には、MMR技研（大阪府忠岡町）の「王冠」が選ばれた。最高度な熟練技能・手法を用い、品質・精度の極めて高い作品である点が評価された。

経済産業大臣賞を受賞したのは田名部製作所（福岡県筑後市）の「BEVEL GEAR CUBE」。最高

厚生労働大臣賞を受賞したMMR技研の作品「王冠」

割沢伸一委員長は、海外からの新規出品率が66%と高いことに触れ「世界的にフェアが広まっている」とした。さらに「応募作品は全体的に造形的・意匠的な特徴をテーマに、技術や技能をアピールする作品が多かった。学生の部では、技術・技能のレベルが高く、独自の発想が認められる」と評した。

厚生労働大臣賞を受賞したMMR技研の作品「王冠」

度な加工技術・手段の開拓など、その成果が板金業界に広く貢献するとの講評があった。

同フェアの運営委員会の